

11月学習会報告

2017. 12. 9



南筑後外国語（英語）科研究サークル

会長 大川市立田口小学校 校長 横大路 智毅

第8回学習会 11月18日（土）13：30～16：30 みやま市立瀬高中学校にて テーマ「新学習指導要領に向けて・・・」

11月の学習会では、小学部より、11月14日（火）に那珂川町で行われた文部科学省「外国語教育強化地域拠点事業」研究指定外国語活動・外国語科実践研究最終報告会での直山調査官の授業評価等についての報告に続き、みやま市立下庄小学校の梅野はる香先生に模擬授業（新教材 We can!を用いて）をしていただきました。中学部からは、11月9日（木）にみやま市立瀬高中学校区で行われた福岡県重点課題研究指定・委嘱事業最終報告会で取り組まれた授業内容について、みやま市立瀬高中学校の吉田優佳先生に実践報告をしていただきました。（文責 黒木、古川）

那珂川町外国語教育研究最終報告会の直山調査官の 授業評価から学んだことについて 八女市立黒木中学校 教頭 古川志乃先生

- ① 国語の音読指導が英語につながる。教材分析の重要さ…場面を読ませることが大切
- ② 単元ゴールを設定しただけで終わらず、子どもに単元ゴールへ向けて見通しを持たせているか。また、子ども達がやってみようと思うようなゴール設定になっているか。
- ③ 1時間単位の授業のデザイン。導入の工夫を行い、必然性のある取り組みになっているか。書きたいから書く！ 伝えたいものがあるから書く。
- ④ 生徒指導力（3つの機能、学習規律）あるかどうか。生徒指導力がある授業、それがうまい授業である。
- ⑤ 子ども達の生活からかけ離れた「場面設定」は避けた方がよい。なるべく身近な場面設定を行う。例えば教室内での解決策から環境問題を考えていくなど。
- ⑥ 外国語教育における「思考」とは？コミュニケーションにおける思考。「英語で何というの？」「どうやったら伝わるかな？」と考えて相手に伝えること。

那珂川町の最終報告会に参加した感想 自身の授業実践から

大木町立木佐木小学校 山浦伸介先生

- ① ビンゴ形式による対話活動
- ② 英単語の書き写しを毎時間実施
⇒対話活動のヒントにつながる。
- ③ ビンゴゲームの答え合わせはスクリーンを用いて行い、英単語を音読させる。
- ④ 英文を書き写す⇒自分たちで書くルールを見つける。書かせる場合は、何度も書けるように学習プリントをラミネートし、書いたり消したりできるようにする。
- ⑤ 文字を書かせる場合は、無味乾燥な文字の練習ではなく、書きたくなるような文字の練習方法を用いる。

「We Can」を用いた演習

みやま市立下庄小学校 教諭 梅野はる香先生

Goal 夏休みに行った場所を言えるようになるう！

- ① Small Talk 「What food do you like in summer?」
その際、会話を続けるために Why?と Because を使って理由も述べる。ジェスチャーをよく使っていたペアはその都度誉めるように心がける。言いたいけど言えなかった表現を全体にたずねて補足する。
- ② Let's listen 聞いたことを線で結ぶ。Let's Listen の内容をゴールへつなげる。
- ③ Pointing Game 文章で伝える。
- ④ 夏休みに訪れた場所についてペアで会話をする。
- ⑤ Target Sentence を文字で確認する。
- ⑥ 書き写し Let's read and write.

福岡県重点課題研究指定最終報告会 授業実践報告 みやま市立瀬高中学校 吉田優佳先生 単元ゴール「ALT リアム先生の友達にみやまを紹介しよう！」



リアム先生の友人であるサムがイギリスから遊びに来るので、サムにみやまの伝統文化を伝え、みやまに来たいと思ってもらえるような紹介をしようというゴール設定。
○サムからのビデオレター視聴
→生徒の興味・関心を向上

○入念な教材研究→教科書本文で学習した表現などがそのまま紹介文に活用できる計画→単元末に英作文の時間を特別に設定する必要なく、プレゼンの練習が充実

○プレゼンに向けて班内リハーサル、クラス内リハーサル（より伝わるプレゼンテーションを目指してアドバイスし合う）。1学期に行った環境に関するプレゼンや他の班との比較→聞き手に内容が伝わるプレゼンテーションの条件に生徒自ら気づき、良い点や改善点から自分の発表を見直し、自分の発表を意欲的に改善

◎吉田先生の発表を通して、小学校、中学校の先生方から質問や意見が出され、「小学校からつなぐ（英語・総合的な学習）」という観点での意見や、他地区での取り組みなどの紹介がありました。吉田先生の実践をみんなで共有し、さらに深めることができました。